

# 御坊市文化賞 受賞者紹介

秘書室 ☎0738-23-5536

市では、文化の発展に貢献された方をたたえ、一層のご活躍を願って文化賞の贈呈を行っています。今年、池口肇氏と夢屋舞組が文化賞の栄に輝かれました。

## いけぐち はじめ 池口 肇 氏



池口氏は、黒潮国体の開催決定を機会として昭和43年に募集された和歌山県県章のデザインに応募。和歌山県の頭文字「ワ」をデザイン化、県民の和を象徴し明日に向かって果てしなく発展する南国紀州、力強く大らかな風格は進取に富む豊かな県民性を表現したマークは、総数815点にもよるデザインの中から見事に入選・採用されました。

この採用を機にシンボルマーク制作などの依頼が来るようになり、昭和47年にはデザイン事務所を設立しました。

以来、地元を中心に、東北から九州まで多くの企業や団体のシンボルマークなどを制作する一方、KGD Aグランプリ作品展では、大阪商工会議所会頭賞2回、奨励賞1回、入選3回のほか数多くの賞を受賞するなど、グラフィックデザイナーとして高い評価を受けています。

また、平成21年に黒い紙を刃先で切り出して描く剪画（切り絵）を独学で始め、風を感じ、光を感じ、色を感じ、空気を感じ、時を感じる絵でありたいと切磋琢磨、平成25年には第28回国民文化祭やまなし「国際切り絵コンクール」において世界12か国、342作品の中から上位4番目となる優秀賞を受賞しました。“1ミリの世界から大宙（おおぞら）へ”をモットーに切り絵制作に取り組んで10年目、小さな点の切り口にこだわりを持ち、アートや芸術的作品でなくてもよい、いかに見るに耐えられるかを心に、切り絵との出会いの中で自身を表現できる喜びを感じながら制作活動を続けています。



## ゆめ や まいぐみ 夢屋舞組

夢屋舞組（正式名称：紀州よさこい鳴子連・夢屋舞組）は、御坊市唯一のよさこい鳴子踊りのチームです。夢屋舞組としては平成21年2月5日の結成と歴史は浅いものの、その発祥は更に5年遡り平成16年に御坊市制施行50周年記念を機に市によって企画された団体をチームの母体としています。メンバーは、小学1年生から70代まで幅広い年齢層で構成されています。

楽曲、衣装、振付を毎年一新しており、すべてチームのオリジナル作品です。

地元の小さなイベントにも積極的に参加し、よさこいの楽しさ、素晴らしさを伝えるとともにイベントを全力で盛り上げ、地元で活力を与えているほか、毎年5月に開催される「みやこ姫よさこい祭り」では運営の中心を担い大盛況を呼んでいます。令和元年8月には、よさこい鳴子踊り発祥の地・高知県の「よさこい祭り」に念願の初出場を果たし、高知市内を中心に全国から集まった207のチームに混じって「和歌山県御坊市」を大いにアピールしました。

よさこい踊りの醍醐味は、何と云っても世代を超えた「ご縁」と「繋がり」であります。今後も次代を担う子どもたちに広く「よさこい鳴子踊り」を普及するため、御坊から発信する「よさこい」、そして御坊に集まってくる「よさこい」に貢献できるチームを目指しています。